

<基本的事項>

第1 乙は、個人情報（生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるものをいう。以下同じ。）の保護の重要性を認識し、この契約による業務を行うにあたっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

<秘密の保持>

第2 乙は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

<適正管理>

第3 乙は、この契約による事務に関して知り得た個人情報について、漏えい、滅失およびき損の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

<作業場所の特定>

第4 乙は、甲の特定する作業場所において、個人情報を取り扱うものとする。特定した作業場所から当該個人情報を持ち出すことは厳禁とする。

<収集の制限>

第5 乙は、この契約による事務を行うために個人情報を収集するときは、その業務の目的を達成するために要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

<目的外利用・提供の禁止>

第6 乙は、甲の指示がある場合を除き、この契約による事務に関して知り得た個人情報を、契約の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

<複写又は複製の禁止>

第7 又は、この契約による業務を行うために甲から提供された個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。ただし、甲の承諾があるときはこの限りではない。

<事務従事者への周知>

第8 乙は、この契約による事務に従事している者に対し、在職中及び退職後においても、当該事務において知り得た個人情報を正当な理由なく他人に知らせ、又は当該事務の目的以外の目的に使用してはならないこと、沖縄県個人情報保護条例により罰則が適用される場合があることなど、個人情報の保護に必要な事項を周知させるものとする。

<再委託の禁止>

第9 乙は、この契約による個人情報取扱事務については自ら行うものとし、第三者にその取扱いを委託してはならない。ただし、甲が承諾した場合はこの限りでない。

<資料等の返還等>

第10 乙は、この契約による事務を行うために甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この契約の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に支持したときは当該方法によるものとする。また、甲の承諾を得て再委託をした場合、乙は甲の指示により、この契約の終了後、直ちに当該再委託先から個人情報が記録された資料等を回収するものとする。

<調査>

第11 乙は、この契約による事務を行うにあたり取り扱っている個人情報の状況について、甲の求めがあった場合は、臨時調査報告するものとする。

<事故発生時における報告>

第12 乙はこの特記事項に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

<損害賠償>

第13 業務の処理に関し、個人情報の取扱いにより発生した損額（第三者に及ぼした損害を含む。）のために生じた経費は、乙が負担するものとする。

<罰則規定>

第14 乙は、沖縄県個人情報保護条例に違反した場合は、同条例の罰則の対象となる。また、本条の規定は、本契約終了後も有効に存続する。

（注）1 「甲」は実施機関、「乙」は受託者をいう。

2 委託事務の実態に即して、適時必要な事項を追加し、不要な事項を削除するものとする。